

令和 5 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	いつまでも健やかなまちづくり						
施 策 No.	20	施 策 名	健康づくりの推進						
主管課名	健康センター								
関係課名	市民課 社会福祉課								
10年後の 目指す姿	健康意識が高まり、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組んでいます。								
施策の現状 及び課題	現 状	・早期発見・早期治療を目指し、生活習慣病予防に着目した特定健康診査事業やがん検診に取り組んでいます。 ・日頃からの健康づくりの意識高揚を目的に、健康についての普及啓発に努めるとともに、住民主体の通いの場などの介護予防活動により、生活機能の低下予防に取り組んでいます。 ・夜間や休日の診療体制や高度医療機器設置の支援など、安心して医療を受けられるための事業に取り組んでいます。							
	課 題	・日頃からの生活習慣の見直し、健診による早期発見・早期治療、病気になっても重症化しないための取組等、生涯にわたる健康づくりを推進する必要があります。 ・自らの積極的な健康づくり意識の高揚を図る必要があります。 ・安心して医療を受けられる環境の充実を図る必要があります。							
施策を進めるための 役割分担	行 政	・早期発見・早期治療を目的に各種健診の受診勧奨に努めます。 ・日頃からの健康を意識した生活習慣について普及啓発に努めます。 ・高齢者の通いの場づくりや介護予防教室の充実を図り、生涯を通じた健康づくりの普及啓発に努めます。 ・安心して受診できる医療体制の充実に努めます。							
	市 民 ・ 事 業 所	・特定健康診査やがん検診など定期的に受診します。 ・自ら健康的な生活習慣を意識して、生涯にわたる健康づくりに努めます。 ・要介護状態にならないよう、積極的に地域の予防教室等に参加します。							
目指す姿の実 現のための取 組 （基本事業）	基本事業①	健康診査体制・予防対策の充実							
	基本事業②	自ら取り組む健康づくりの推進							
	基本事業③	地域医療体制の充実							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	28 (22)	24 (18)	24 (18)			
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	13 (8)	12 (7)	12 (7)			
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	11 (10)	8 (7)	8 (7)			
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	4 (4)	4 (4)			
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	643,273	551,806	448,642			
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	475,198	373,528	264,876			
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	36,440	36,944	43,008			
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	131,635	141,334	140,758			
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	75	69	72			
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	22,200	19,640	20,480				
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	87,091	76,125	81,019				
F. トータルコスト（B+E）		千円	730,364	627,931	529,661				
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	15,892	13,823	11,423			
	G. 事業費（定義式：B／人口）								
	同 上		円	2,152	1,907	2,063			
	H. 人件費（定義式：E／人口）								
同 上		円	18,044	15,730	13,486				
I. トータルコスト（定義式：F／人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876	3,956			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919	39,274			

基本事業概要シート①

施策 No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	①健康診査体制・予防対策の充実		
基本事業の目的(意図)	生活習慣病やがんの早期発見のために、市民が受けやすい健康診査体制の充実を図るとともに、感染症の予防に努めます。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【特定健康診査事業】 ・生活習慣病の予防、早期発見のために特定健康診査を実施しました。(R4年度 45.6 %) また、未受診の方には、はがきによる案内や民間事業者へ委託して電話による受診勧奨を行いました。 ・健診結果から指導が必要と判定された方に特定保健指導を行いました。(R4年度 32.9 %) ・受診者へ魚津市電子地域通貨MiraPay行政ポイント付加(2,000ポイント)を実施しました。(R5年度 454 件) 【がん対策事業】 ・令和5年度のがん検診受診率は 胃がん 21.8 %、大腸がん 25.4 %、肺がん 34.4 % 乳がん 26.4 %、子宮がん 26.9 % でした。(6月末時点) ・子宮頸がん検診に併せて実施するHPV検査について、25、30、35、40、45歳を対象に実施しました。(R5年度 72人) 【乳幼児予防接種事業及び風しん追加的対策事業】 ・国が示す内容に基づき、対象者へ個別の案内に併せて広報等による周知に努めました。 ・HPVワクチンの定期予防接種の積極的勧奨の再開、及び案内を控えていた年代(平成9年度～平成17年度生まれ)の対象者に対するキャッチアップ接種を実施しました。(定期接種 延 237回、キャッチアップ 延 244回) 【新型コロナウイルスワクチン接種事業】 ・国が示す実施方法に基づき、初回接種及び追加接種について、乳幼児(6か月から4歳)、小児(5歳から11歳)、12歳以上に対し、医療機関接種体制を整備して実施しました。(秋開始接種 接種率 26.5%)		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
国保特定健康診査受診率	%	45.4	43.6	50.0 44.4	55.0 45.6	60.0 速報値 10月頃	47	50	60
国保特定保健指導実施率	%	36.0	36.3	40.0 36.3	50.0 32.9	60.0 速報値 10月頃	40	44	60

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 健康診査事業	1,347,000	922,756	424,244	B	健康センター
2	一般会計	○ がん対策事業	63,677,110	56,137,110	7,540,000	A	健康センター
3	一般会計	○ 次世代を担う女性の健康づくり事業	3,096,190	3,074,683	21,507	A	健康センター
4	一般会計	○ 感染症予防対策事業	5,153,212	5,110,501	42,711	B	健康センター
5	一般会計	○ 高齢者予防接種事業	24,490,400	22,001,620	2,488,780	A	健康センター
6	一般会計	○ 乳幼児予防接種事業	96,994,170	69,866,032	27,128,138	B	健康センター
7	一般会計	○ 風しん追加的対策事業	4,922,930	1,137,141	3,785,789	B	健康センター
8	国民健康保険事業特別会計	○ 特定健康診査等事業費	34,957,000	27,000,806	7,956,194	B	健康センター
9	国民健康保険事業特別会計	○ 疾病予防費	7,150,000	5,826,000	1,324,000	A	健康センター
10	一般会計	○ 新型コロナウイルスワクチン接種事業	225,366,000	73,082,171	152,283,829	A	健康センター
11	一般会計	○ 子宮頸がん検診HPV検査事業	888,700	502,670	386,030	A	健康センター
12	一般会計	○ がん患者補正具購入費用助成事業	400,000	215,000	185,000	A	健康センター
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			468,442,712	264,876,490	203,566,222		

基本事業概要シート②

施策 No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	②自ら取り組む健康づくりの推進		
基本事業の目的(意図)	市民自らが健康意識を高め、こころとからだの健康づくりの推進に努めます。また、地域に密着した介護予防の取組を行い、高齢者の介護予防の意識を高めます。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【地域自殺対策事業】 ・自殺予防普及啓発活動として、関係機関や図書館に啓発用ティッシュを配置しました。併せて、図書館では普及啓発コーナーを設置しました。 ・ゲートキーパー養成講座を民生委員や市職員を対象に2回開催しました。また、関係者によるネットワーク会議を1回開催し、第2期いのち支える魚津市自殺対策行動計画を策定しました。 ・「うおづこころの相談窓口」に延263件(実15件)の相談がありました。 【健康づくり推進事業】 ・地区健康講座や生活習慣病予防を中心とした健康づくりイベント教室を計9回開催し、合計182人の参加がありました。また、食生活改善推進員の養成と育成に努めました。 ・健康づくりの啓発として、昨年に引き続きミラたん健康ポイント事業を実施し、参加者は869人でした。 ・生活習慣病重症化予防の取組みとして糖尿病、高血圧、腎臓病の教室を実施しました。(5回 延参加者 140人) ・高血圧をテーマに市民公開講座を開催しました。(参加者数 180人) 【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業及び介護予防普及啓発事業】 ・サンブラザにおいて「さんさん介護予防倶楽部」を開催しました。(194日/年 延参加者数 15,292人) ・地域における介護予防活動である「ふれあい・いきいきサロン」(79か所 延参加者数 13,621人)や「いきいき百歳体操」(30か所 延参加者数 832人)を支援しました。 ・一般高齢者を対象に、フレイル予防の普及啓発を目的とした教室を開催しました。(81回 延参加者数 1,151人)		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
健康寿命(男性) (H29 79.33 歳)	歳	79.93	79.84	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
				79.14	R7.2頃算出				
健康寿命(女性) (H29 84.63 歳)	歳	85.64	85.28	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					健康寿命の増加
				84.08	R7.2頃算出				
自立高齢者の割合	%	81.1	80.6	81.5	81.5	82.0	82.0	82.0	82.0
				80.6	80.6	80.4			

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	国民健康保険事業特別会計	○ 保健衛生普及事業	2,594,000	2,186,889	407,111	B	市民課
2	一般会計	○ 地域自殺対策事業	392,000	322,690	69,310	B	社会福祉課
3	一般会計	○ 健康づくり推進事業	2,020,000	1,199,978	820,022	B	健康センター
4	国民健康保険事業特別会計	○ 保健衛生普及事業	12,947,000	10,660,097	2,286,903	B	健康センター
5	介護保険事業特別会計	○ 地域介護予防活動支援事業	20,923,000	19,970,956	952,044	A	健康センター
6	介護保険事業特別会計	○ 介護予防普及啓発事業	7,648,520	4,916,452	2,732,068	A	健康センター
7	介護保険事業特別会計	○ 介護予防把握事業	1,123,000	772,194	350,806	A	健康センター
8	後期高齢者医療事業特別会計	○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	4,271,000	2,978,852	1,292,148	B	健康センター
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			51,918,520	43,008,108	8,910,412		

基本事業概要シート③

施策 No.	20	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	③地域医療体制の充実		
基本事業の目的(意図)	市民が安心して暮らすことができるよう、健康を支える医療体制の充実を図ります。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【一次救急体制支援事業】 ・魚津市医師会へ「在宅当番医制運営事業」を委託し、日曜・祝日の昼間に、軽症の患者さんに対する救急医療を実施しました。 - 令和5年度は、延 76 日 2,074人（平均 172.8人/月）の利用がありました。 ・富山労災病院、魚津市医師会、市との間で協定を締結し、平成28年4月に労災病院内に、軽症の患者さんに対応する「魚津市急患センター」を開設しました。全日 19時～22時の時間帯で対応しており、令和5年度は、延 448人（平均 37.3人/月）の利用がありました。 【地域中核病院支援事業】 市内唯一の総合病院である富山労災病院に対し「がん診療地域連携拠点病院（県指定 R1.8.1～）」としての対応を充実するとともに、心疾患や脳血管疾患への速やかな治療など、市民が安心して受けられる地域医療の充実を図るため、コンピューター断層撮影装置（CT）、核磁気共鳴画像装置（MRI）、血管造影撮影装置（DSA）の設置について、財政的支援を継続しました。（平成28年11月より設置） また、令和5年度に新たに整形外科医療機器の導入支援を行いました。 【産婦人科医療体制整備事業】 富山労災病院における婦人科診療において、診療に対する補助を行いました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
魚津市急患センター受診者数	人	664	487	670 518	670 441	680 448	690	700	700

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 一次救急体制支援事業	15,202,000	14,474,118	727,882	B	健康センター
2	一般会計	○ 地域中核病院支援事業	153,990,000	103,941,825	50,048,175	B	健康センター
3	一般会計	健康センター運営事業	21,573,000	18,342,265	3,230,735	-	健康センター
4	一般会計	○ 産婦人科医療体制整備事業	14,000,000	4,000,000	10,000,000	B	健康センター
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			204,765,000	140,758,208	64,006,792		

施 策 No.	20	施 策 名	健康づくりの推進
令和5年度の評價結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	【①健康診査体制・予防対策の充実】 ◆特定健康診査受診率は R4年度 45.6% (R3年度 44.4%) と増加の傾向が見られます。 ◆特定保健指導率は R4年度 32.9% (R3年度 36.3%) と低下の傾向が見られます。 ◆令和5年度のがん検診の受診率は、徐々にコロナ禍以前の状況に近づいています。 胃がん R元年度 24.4% R5年度 21.8 %、大腸がん R元年度 26.8% R5年度 25.4%、乳がん R元年度 29.3% R5年度 26.4 %、子宮がん R元年度 27.4% R5年度 26.9 % (R元年度:コロナ禍前 R5年度:6月末時点) ◆新型コロナワクチン接種は、特例の臨時接種としての対応は R6.3.31で終了となりました。令和5年秋開始接種 (XBBワクチン) の接種率は26.5% (対人口比)です。 ◆HPVワクチン接種者は R5年度 延 237回 (R4年度 延 193回) であり、積極的勧奨の再開等により接種者は増加の傾向が見られます。また、案内を控えていた年代(平成9年度～平成18年度生まれ)の対象者に対するキャッチアップ接種は R5年度 延 244回 (R4年度 延 231回)です。		
	【②自ら取り組む健康づくりの推進】 ◆健康づくりの意識を高めるため「ミラたん健康ポイント事業」を継続して実施しました。参加者は R5年度 869人 (R4年度 775人) となっています。 ◆市独自で算出する健康寿命は、令和3年(男性 79.14歳 女性 84.08歳)と令和2年(男性 79.84歳 女性 85.28歳)の比較では男女とも短くなる傾向が見られます。また、男女とも平均寿命はそれ以上に短くなっており、健康寿命と平均寿命の差は短縮しています。 ◆要介護度別人数の分布状況では、要支援1～要介護5のうち、要介護1～5認定者数が R3 年度 71.3%だったものが、R5年度 68.4%と 2.9 ポイント減少しています。県全体では1.4 ポイントの減少であり、健診や介護予防事業の対策等が有効に機能しているものと考えられます。		
	【③地域医療体制の充実】 ◆市民が利用できる休日及び夜間の初期救急は、「魚津市急患センター」(富山労災病院内)、「在宅当番医制」(魚津市医師会)、「新川医療圏小児急患センター」(黒部市民病院内)により、休日、祝祭日の日中及び19時から22時までの診療体制が整っています。 県内では、初期急患センターは、富山、高岡、砺波医療圏に1か所設置され、内科・小児科等の診療を行っています。 ◆魚津市急患センターの受診者数は、コロナ禍前と比較して減少傾向にあります。(R元年度 55.3人／月 R5年度 平均 37.3人/月)。また、在宅当番医制の診療状況でも同様の傾向が見られます。(R元年度 190.8人／月 R5年度 平均 172.8人/月) ◆富山労災病院における婦人科診療支援として診療に対する補助を行いました。		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和5年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
【①健康診査体制・予防対策の充実】 ＜健康診査事業・がん対策事業＞ ◆特定健診の受診率向上のために、未受診者へはがきの送付や電話による受診勧奨に併せて、受診者に対するありそドームの無料利用特典、MiraPay行政ポイント付与(健診データ提供者含む)などの工夫を継続しましたことで、受診率の向上が見られます。 ◆自宅でできる「スマホdeドック」事業により、若年層に対し健康づくりの意識啓発を図りました。 ◆がん検診受診率向上を目的として、効果的なパンフレットを活用した受診勧奨、節目年齢の方への検診自己負担金軽減、特定健康診査とがん検診の同時実施、休日検診の設定やがん検診時の託児を行った結果、受診率は若干向上しました。 ＜乳幼児予防接種事業＞ ◆HPVワクチンの定期予防接種の積極的勧奨の再開及び案内を控えていた年代(平成9年度～平成17年度生まれ)の対象者に対するキャッチアップ接種についての案内を行うことで、接種者数が増加しました。 ＜新型コロナウイルスワクチン接種事業＞ ◆新型コロナワクチン接種について、国が示す内容に基づき、関係機関の協力を得て実施しました。			
【②自ら取り組む健康づくりの推進】 ＜健康づくり推進事業＞ ◆健康づくりの動機付けとして、「ミラたん健康ポイント事業」を継続しています。参加者からは「健康づくりの励みになる」などの意見をいただいております。参加者も年々増加傾向です。 ＜介護予防普及啓発事業＞ ◆サンブラザで実施する「さんさん介護予防倶楽部」の参加者の増加が見られ、地域で開催される「ふれあい・いきいきサロン」、「いきいき百歳体操」等の介護予防の取り組みも併せて、介護が必要な状態にならないようフレイル予防意識の高まりが期待されます。 ＜高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施事業＞ ◆国保保健事業、後期高齢者保健事業、介護予防(普及啓発事業)を一体的に実施することで、保険種別による切れ目のない、より効果的な健康づくりとなるよう各種事業に取組みました。			
【③地域医療体制の充実】 ＜地域中核病院支援事業・産婦人科医療体制整備事業＞ ◆富山労災病院に対し、高度医療機器の導入等の支援を行うことで、地域医療の充実が図られ、市民がより利用しやすい病院となっています。			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
【①健康診査体制・予防対策の充実】 ◆新型コロナウイルス感染症の影響で各種健診の受診率が低迷していることから、積極的な受診勧奨に努めます。 ◆積極的勧奨を再開したHPVワクチンの定期予防接種及び令和6年度が最終年度となるキャッチアップ接種を推進します。 ◆がん検診により“要精密検査”対象となった方が100%受診されるよう継続して受診勧奨に努めます。 ◆令和6年度は、風しん抗体検査の追加的対策事業の最終年度であり、継続して周知に取組みます。 ◆令和6年度の新型コロナワクチン接種については、秋以降に予定されている定期接種(B類)としての接種体制の整備と円滑な実施に努めます。			
【②自ら取り組む健康づくりの推進】 ◆高血圧や糖尿病の発症予防と重症化予防に取組みます。 ◆魚津市医師会や富山労災病院、関係機関と連携を図りながら、各種教室や相談、訪問指導等を実施していきます。 ◆「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」について、関係機関と十分に連携を図り実施していきます。 ◆骨折や整形疾患が要支援の原因となっている場合が多く、フレイル予防や活動性を高める取組みを推進します。 ◆令和5年度に策定した「魚津市国民健康保険 第3期保健事業計画(データヘルス計画) 計画期間:令和6年度～11年度」や「魚津市高齢者保健福祉計画 計画期間:令和6年度～8年度」に基づき各種事業に取組みます。 ◆「ゲートキーパー養成講座」は、本市における自殺の実態を踏まえ、令和6年度は教育関係者や福祉関係者を対象に2回開催します。 ◆令和6年度から5年間を計画期間とする第2期いのち支える魚津市自殺対策行動計画を基に、関係機関と情報共有を図りながら自殺者数の減少を目指します。			
【③地域医療体制の充実】 ◆市内の「魚津市急患センター」、「在宅当番医制」及び「新川医療圏小児急患センター」を含めて、初期の救急対応が継続できる体制について検討を重ねます。 ◆市内唯一の中核的病院である富山労災病院に対して、高度医療機器「コンピューター断層撮影装置(CT)、核磁気共鳴画像装置(MRI)、血管造影撮影装置(DSA)」等の設置支援や、婦人科診療支援など、市民が安心して受けられる地域医療体制の充実に向けた取組みを継続します。 ◆富山労災病院における診療体制が継続されるための支援について検討し、関係機関と協議します。			